

第三回ミーディング TeX の導入

山崎達也

平成 27 年 3 月 8 日

1 はじめに

今週の進捗は全く無いが， \LaTeX の導入方法を簡単に纏めておいてくれとの声があったので今回の報告はこれについてとする．文法その他についてはネットに詳しい資料があるので，内容はインストール手順と注意事項に留める． \LaTeX がどのようなものかという事についても同様である．

2 インストール

\TeX ， \LaTeX 共にパッケージがリポジトリにあるので `apt` を使用して簡単にインストールが出来る．必要なコマンドは以下の通りである．

```
$ sudo apt-get -y install texlive
$ sudo apt-get -y install texlive-lang-cjk
$ sudo apt-get -y install xdvik-ja
$ sudo apt-get -y install dvipsk-ja
$ sudo apt-get -y install gv
$ sudo apt-get -y install texlive-fonts-recommended texlive-fonts-extra
```

3 YaTeX の導入

以上の様にインストールしただけでも十分使えるが，このままでは確認の度に端末からコンパイルしなければならない．幸い CIR-KIT の開発メンバーは Emacs を主エディタとしており，Emacs 用 \LaTeX 入力支援環境として YaTeX というものがあるのでその使用をお勧めする．

```
$ sudo apt-get -y install yatex
```

これも同じく `apt` を使用して以上の様にインストール，Emacs 側に以下のコードを追加すればファイル名末尾が `.tex` のファイルの編集で自動的に YaTeX モードが起動する．

```
(setq auto-mode-alist
  (cons (cons "\\\\.tex$" 'yatex-mode) auto-mode-alist))
(autoload 'yatex-mode "yatex" "Yet Another LaTeX mode" t)
```

コンパイルするためには Emacs 上で C-c C-t j , プレビューは C-c C-t p で利用できる．その他にも補完などがあるが，これを覚えるだけでも作業効率が飛躍的に高まる．作成からプレビューまでが簡単になるだけで PDF への変換は YaTeX 導入後もコマンドから行う必要がある．作成中の tex ファイルを C-c C-t j でコンパイルした後，出力された dvi ファイルを変換する．コマンドは以下の通り．

```
$ dvipdfmx example.dvi
```

尚，注意事項として Emacs の YaTeX 用の Lisp を init.el とは別のファイルとする場合，ディレクトリ・ファイル名に単に YaTeX という語を使うと YaTeX が起動しなくなる事に注意すること（小文字の yatex でも同様）．

文字化け等の問題があった場合は聞いて下さい．